

質問・病気になったとき

Q1：診てもらいたい医者は何？…西洋医？ 漢方医？

Q2：吞みたい薬は何？……………西洋薬？ 漢方薬？

二つ目の講演は、漢方医学の戴 毅（だい つよし）先生のお話。漢方薬について基本的な知識を説明いただきました。以下、その概略です。

私は、阪神淡路大震災の年に日本にやってきて、もう20年以上になります。

最初に、皆さんの漢方への信頼度？を訊きます。（上の見出しの質問に対する会場の回答は、医者は西洋医、薬は漢方薬というものでした。）

西洋医学と漢方医学の違い

西洋医学と漢方医学とは考え方が違います。よく言われるのは、ミクロの医学とマクロの医学です。西洋医学は「より深くより細かく」追求するのに対し、漢方医学は「自然のバランスと人体の中のバランス」を追求します。

また、個の医学と集団医学とも言われます。

個の医学＝病気の原因によって個々の生体が起こす様々な反応に重きをおいて治療する、オーダーメイドの医学

集団の医学＝病気の原因を追及して、その原因を生体から排除して治療する、レディーメイドの医学

ですから、病気によっては西洋薬の効く人の割合は非常に低いことがあります。一例として、抗がん剤の効き目が悪い患者の割合は7割以上です。どちらかがいい、悪いということではなく、それぞれにメリットがあるというように理解することが重要です。

生薬あれこれ

身近なものではシソの葉や陳皮（ミカンの実



兵庫医療大学 薬学部医療薬学科 教授
戴 毅（だい つよし）先生の講演

の皮を乾燥）などです。薬草原料の西洋薬も沢山あります。アスピリンは柳皮から、モルヒネはケシから、タミフルは八角からです。

「当帰」は冷え性に効果あり



当帰の根

今回、〈わ〉の皆さんにご協力いただいている当帰茶葉の根が「当帰」です。元々、婦人の要薬で漢方補血、活血薬の代表です。新たな効能のエビデンスが得られればと考えています。

生薬とは？＝ 動植物や鉱物のなかから人類の長い使用経験によって取捨選択され、加工調整法や保存法が工夫されて今日まで伝えられてきたもの。「生」とはできるだけ加工調整しない意。
植物＝根、樹皮、果実、花など
動物＝熊胆、サイ角、麝香など
鉱物＝石膏、化石など

健康のため知っておきたい薬草・漢方の知識

漢方は環境との調和や自然治癒力を重視

当帰薬料理に舌つづみ 好評だった試食会

食文化専攻19期と20期のグループのご協力で、当帰茶葉を使用した料理を作っていただきました。講義の後、受講者の皆さんで試食会を開催し、わいわいと賑やかに味わいました。

〔メニュー〕

「ぷるんぷるん豆腐」豆腐にかける胡麻ドレッシングに当帰茶葉を使用
「混ぜご飯」しいたけ、ごぼう、人参、



調理メニューの説明です

薄揚げの混ぜご飯に湯がいた当帰茶葉を入れて混ぜる
「レンコンのすまし汁」すったレンコンに当帰茶葉を入れ、団子に



してすまし汁の具に
「だんご（デザート）」白玉粉と豆腐のだんごにかけるドレッシングに当帰茶葉を混ぜる